

業務再点検結果報告

部署名	東北農政局 食糧部 食糧調整課
部署の業務内容	主要食糧行政の総合調整並びに食料安定供給特別会計の経理及び国有財産の管理等

		項目	対応	点検結果の概要
基本的な視点	総論	消費者、生産者、事業者など多様な国民各層からみて、丁寧・誠実・親切的な対応がなされるよう、部署内の業務において何らかの取組を行っているか。	○	課内全職員と打ち合わせ会議等で情報共有したが、個々具体的な事例が実際に発生していないことから、不安が残る。
		国民各層からそれらの取組が適切であるとの評価を受けているか。	×	
	苦情、要請等への対応	国民からの苦情、要請、内部告発、その他の情報提供について、対応が放置されたり、不誠実との批判を受けた事例があるか。	×	苦情処理等は農政局全体としてルール化されているものの、現実的な対応が直ちに可能かどうか不安がある。
		苦情、要請、内部告発を受けた場合の対応の方法はルール化されているか。	○	
		そのルールについて、改善すべきとの声は寄せられているか。	×	
		対応がルール化されていない場合、国民の苦情、要請への対応が公平になされている考えられるか。	—	
	政策の目的・効果に関する説明	国民に政策目的や政策効果の説明を適切に行い、その結果を施策に適切に反映するため、何らかの取組を行っているか。	○	生産者団体などからの政策提案などを受ける機会もあり、その都度、関係各課と連携して対応している。 政策提案などの内容について、本省及び関係各課に連絡している。
		政策について国民との意見交換を適切に行い、その結果を施策に適切に反映するため、何らかの取組を行っているか。	○	
		国民各層からそれらの取組が適切であるとの評価を受けているか。	×	
		政策目的や政策効果の説明、意見交換の方法、その結果を施策に適切に反映する方法はルール化されているか。	○	
		そのルールについて、改善すべきとの声は寄せられているか。	×	
		ルール化されていない場合、国民全体の視点で見て、業務が公平に遂行されると考えられるか。	—	
		説明会や意見交換会において出された意見について、対応が放置されたり、不誠実との批判を受けた事例があるか。	×	
	業の振興と消費者の利益	部署内の業務において、特定の分野、団体の指導、監督業務、もしくは特定の分野、団体と深く関係する予算、税制等に該当する事項があるか。	×	
		業の振興と消費者の利益が一致しないという認識に立ち、日々業務を行っているか。	—	
現在の所管の業界の状況からみて消費者と業界の利害が一致しないことがあるか。		—		

項目		対応	点検結果の概要	
食の安全業務についての点検	総論	部署内の業務の中に、食の安全に関連する事項があるか。	○	直接的な所掌業務ではないが、部全体で販売業者への立ち入り調査等を実施している。
	業務の見直し	BSE発生後業務の見直しを行ったか。	×	
		見直した業務について、その後、定期的な検証を行ったか。	—	
		部署内の業務は、国民の健康を守ることが何よりも重要であるという意識を持って行われているといえるか（産業振興サイドに偏っていないといえるか）。	○	
		部署内の業務は、国民の健康への悪影響発生の未然防止の観点から行われていると言えるか（問題・事故が発生した後の被害拡大防止に偏っていないか）。	○	
		その措置は科学的な知見や証拠に基づいて業務が行われているといえるか（根拠のない判断をしていないか）	○	
		フードチェーンの川下への影響を防ぐ観点からの措置はとられているか。	○	
		その措置は科学的な知見や証拠に基づいて業務が行われているといえるか（根拠のない判断をしていないか）。	○	
		他部署の実施する食の安全業務について、おかしいと思う点があるか。	×	
		おかしいと思う点がある場合、他の部局に対し何らかの働きかけを行っているか。	—	
第三者（マスコミ、消費者、他省庁等）から、点検対象とした食の安全業務と他の部署（省内、省外を問わず）が行う食の安全業務との連携ができていないと指摘されたことはあるか。	×			
影響可能性の確認	食の安全に関する業務でないとされているものの中で、食の安全に影響を及ぼす可能性のある業務は本当にないか。	×		

※「はい」の場合は「○」、いいえの場合は「×」で表示しています。

	ご意見の内容		ご意見を踏まえた業務等の見直し・改善状況
農林水産省へお寄せいただいたご意見の業務への反映			

業務再点検結果報告

部署名	東北農政局 食糧部 計画課
部署の業務内容	米穀の需給及び価格の安定

		項目	対応	点検結果の概要
基本的な視点	総論	消費者、生産者、事業者など多様な国民各層からみて、丁寧・誠実・親切な対応がなされるよう、部署内の業務において何らかの取組を行っているか。	○	通報マニュアルに基づき、適正な業務運営を課員全員で心掛けている。
		国民各層からそれらの取組が適切であるとの評価を受けているか。	×	
	苦情、要請等への対応	国民からの苦情、要請、内部告発、その他の情報提供について、対応が放置されたり、不誠実との批判を受けた事例があるか。	×	問題となる事例がない。
		苦情、要請、内部告発を受けた場合の対応の方法はルール化されているか。	○	
		そのルールについて、改善すべきとの声は寄せられているか。	×	
		対応がルール化されていない場合、国民の苦情、要請への対応が公平になされている考えられるか。	—	
	政策の目的・効果に関する説明	国民に政策目的や政策効果の説明を適切に行い、その結果を施策に適切に反映するため、何らかの取組を行っているか。	○	意見交換会等の概要について、早急に取りまとめ、局内関係部署と情報を共有するとともに、本省へも報告。
		政策について国民との意見交換を適切に行い、その結果を施策に適切に反映するため、何らかの取組を行っているか。	○	
		国民各層からそれらの取組が適切であるとの評価を受けているか。	×	
		政策目的や政策効果の説明、意見交換の方法、その結果を施策に適切に反映する方法はルール化されているか。	○	
		そのルールについて、改善すべきとの声は寄せられているか。	×	
		ルール化されていない場合、国民全体の視点で見て、業務が公平に遂行されると考えられるか。	—	
		説明会や意見交換会において出された意見について、対応が放置されたり、不誠実との批判を受けた事例があるか。	×	
	業の振興と消費者の利益	部署内の業務において、特定の分野、団体の指導、監督業務、もしくは特定の分野、団体と深く関係する予算、税制等に該当する事項があるか。	○	MA米の買受業者に対する、立入・立会検査については、マニュアルに基づき、適正に実施、不適正事項について、徹底した実態把握を実施。
業の振興と消費者の利益が一致しないという認識に立ち、日々業務を行っているか。		○		
現在の所管の業界の状況からみて消費者と業界の利害が一致しないことがあるか。		○		

項目		対応	点検結果の概要	
食の安全業務 についての点検	総論	部署内の業務の中に、食の安全に関連する事項があるか。	○	計画課の本来業務ではないが、MA米のカビ混入米流通防止及びMA米の適正流通確保に取り組んでいる。
	業務の見直し	BSE発生後業務の見直しを行ったか。	×	
		見直した業務について、その後、定期的な検証を行ったか。	—	
		部署内の業務は、国民の健康を守ることが何よりも重要であるという意識を持って行われているといえるか（産業振興サイドに偏っていないといえるか）。	○	
		部署内の業務は、国民の健康への悪影響発生の未然防止の観点から行われていると言えるか（問題・事故が発生した後の被害拡大防止に偏っていないか）。	○	
		その措置は科学的な知見や証拠に基づいて業務が行われているといえるか（根拠のない判断をしていないか）	○	
		フードチェーンの川下への影響を防ぐ観点からの措置はとられているか。	○	
		その措置は科学的な知見や証拠に基づいて業務が行われているか（根拠のない判断をしていないか）。	○	
		他部署の実施する食の安全業務について、おかしいと思う点があるか。	×	
		おかしいと思う点がある場合、他の部局に対し何らかの働きかけを行っているか。	—	
第三者（マスコミ、消費者、他省庁等）から、点検対象とした食の安全業務と他の部署（省内、省外を問わず）が行う食の安全業務との連携ができていないと指摘されたことはあるか。	×			
影響可能性の確認	食の安全に関する業務でないとしてされているものの中で、食の安全に影響を及ぼす可能性のある業務は本当にはないか。	×		

	ご意見の内容		ご意見を踏まえた業務等の見直し・改善状況
農林水産省へお寄せいただいたご意見の業務への反映		/	
		/	
		/	

業務再点検結果報告

部署名	東北農政局 食糧部 消費流通課
部署の業務内容	①備蓄米及び輸入米の買入・保管・流通・販売業務、②農産物検査業務に係る登録検査機関の監査・指導等、③米の消費拡大業務

項目		対応	点検結果の概要
総論	消費者、生産者、事業者など多様な国民各層からみて、丁寧・誠実・親切的な対応がなされるよう、部署内の業務において何らかの取組を行っているか。	○	・輸入米の販売前のカビ・カビ毒チェックの対応について、関係倉庫業者等に対して事前に設備の導入及び協力体制の構築に努め、安全が確認された輸入米の期限内での実需者への供給の目途がついた。なお、管内の輸入米の実需者からは、早期の供給要請があったが、事業者である国として安全な原料供給の責任を果たすためのやむを得ない措置であることについて説明し、理解を求めるとともに、意見要望等を本省に伝え、的確な対応に努めた。
	国民各層からそれらの取組が適切であるとの評価を受けているか。	×	
苦情、要請等への対応	国民からの苦情、要請、内部告発、その他の情報提供について、対応が放置されたり、不誠実との批判を受けた事例があるか。	×	課独自のものは無いが、農水省としてルール化されており、それに従い対応・処理している。必要な場合には本省にも照会し対応。
	苦情、要請、内部告発を受けた場合の対応の方法はルール化されているか。	○	
	そのルールについて、改善すべきとの声は寄せられているか。	×	
	対応がルール化されていない場合、国民の苦情、要請への対応が公平になされている考えられるか。	—	
基本的な視点	国民に政策目的や政策効果の説明を適切に行い、その結果を施策に適切に反映するため、何らかの取組を行っているか。	○	1 21年産の国内産農産物銘柄設定及び区分変更については、要領によりルール化されており、事前に関係機関等に対する制度変更の周知を行うとともに、局ホームページパブリックコメントを募集した後、関係機関等からの意見聴取を行い、その結果に基づき、本省に銘柄設定を申請している。また、意見聴取した内容は、局ホームページに公開しているが、これに対する意見等は寄せられていない。 2 農林水産省の政策等の周知については、管内農政事務所課長等会議及び関係団体等の会議の際に、その概要の説明に努めている。
	政策について国民との意見交換を適切に行い、その結果を施策に適切に反映するため、何らかの取組を行っているか。	○	
	国民各層からそれらの取組が適切であるとの評価を受けているか。	×	
	政策目的や政策効果の説明、意見交換の方法、その結果を施策に適切に反映する方法はルール化されているか。	○	
	そのルールについて、改善すべきとの声は寄せられているか。	×	
	ルール化されていない場合、国民全体の視点で見て、業務が公平に遂行されると考えられるか。	—	
説明会や意見交換会において出された意見について、対応が放置されたり、不誠実との批判を受けた事例があるか。	×		
業の振興と消費者の利益	部署内の業務において、特定の分野、団体の指導、監督業務、もしくは特定の分野、団体と深く関係する予算、税制等に該当する事項があるか。	○	1 20年度の登録検査機関に対する年1回の監査の実施当たり、今年度の監査の重点事項等を策定し、無通告により実施。 2 21年度の政府所有米麦の政府寄託契約の更新について、直ちに全政府寄託倉庫業者に周知するとともに、契約の変更点についての説明・質疑時間を十分確保した説明会を開催した。 なお、今回の契約更新に係る改正は、公共調達の透明性・競争性を高める観点から、これまでの公募による年間包括契約から、原則として一般競争入札へ移行するものである。
	業の振興と消費者の利益が一致しないという認識に立ち、日々業務を行っているか。	○	
	現在の所管の業界の状況からみて消費者と業界の利害が一致しないことがあるか。	○	

項目		対応	点検結果の概要	
食の安全業務についての点検	総論	部署内の業務の中に、食の安全に関連する事項があるか。	○	・輸入米の販売前のカビの有無及びカビ毒チェックの対応につ
	業務の見直し	BSE発生後業務の見直しを行ったか。	×	1 平成20年12月9日に農林水産省が販売した輸入米(タイ産)の一部にカビが確認され、分析の結果、食品衛生法上問題のあるカビ毒(アフラトキシンB1)が検出された。
		見直した業務について、その後、定期的な検証を行ったか。	—	2 このことから、平成21年1月26日に政府米に関する食品安全を確保するため、政府米のカビに関する諸課題を専門的、科学的見地から検討する「政府米のカビに関する科学委員会」が設置され、本省において同科学委員会に対し、カビ毒の分析にあたってのロットの決め方、サンプリング方法等に対して助言を求めてきた。
		部署内の業務は、国民の健康を守ることが何よりも重要であるという意識を持って行われているといえるか(産業振興サイドに偏っていないといえるか)。	○	3 こうした経緯を踏まえ、同年2月19日には本省総合食料局長から「輸入米の販売前のカビ、カビ毒のチェックの手順書」が示された。
		部署内の業務は、国民の健康への悪影響発生の未然防止の観点から行われていると言えるか(問題・事故が発生した後の被害拡大防止に偏っていないか)。	○	4 今後、政府は、輸入米販売後にカビ毒問題が生じることを防止するため、輸入米を販売する際に、全量解袋し、カビの有無を目視チェックし、カビがないことを確認の上、新しいフレコンに詰替、当該フレコンからサンプルを採取し、登録分析機関によるカビ毒チェックを実施し、関係法令に適合するもののみを販売することされた。
		その措置は科学的な知見や証拠に基づいて業務が行われているといえるか(根拠のない判断をしていないか)	○	5 なお、目視確認によりカビが発見された場合は、所在地保健所への報告や食品専門家の指導・助言により対応することとしている。
		フードチェーンの川下への影響を防ぐ観点からの措置はとられているか。	○	6 このため、本手順書に基づき、カビ、カビ毒のチェックを行い、安全が確認された輸入米のみを供給している。
		その措置は科学的な知見や証拠に基づいて業務が行われているか(根拠のない判断をしていないか)。	○	7 今回の措置は、暫定的なものであって、今後実施すを検討するカビ、他のカビ毒についてのデータ収集や解析、チェック結果に応じて見直し改善を行う。
		他部署の実施する食の安全業務について、おかしいと思う点があるか。	×	
		おかしいと思う点がある場合、他の部局に対し何らかの働きかけを行っているか。	—	
第三者(マスコミ、消費者、他省庁等)から、点検対象とした食の安全業務と他の部署(省内、省外を問わず)が行う食の安全業務との連携ができていないと指摘されたことはあるか。	×			
影響可能性の確認	食の安全に関する業務でないとされているものの中で、食の安全に影響を及ぼす可能性のある業務は本当にはないか。	×		

	ご意見の内容		ご意見を踏まえた業務等の見直し・改善状況
農林水産省へお寄せいただいたご意見の業務への反映			

業務再点検結果報告

部署名	東北農政局 食糧部 食糧貿易課
部署の業務内容	米麦の輸入業務及び米の輸出入の届出業務

項目		対応	点検結果の概要
総論	消費者、生産者、事業者など多様な国民各層からみて、丁寧・誠実・親切な対応がなされるよう、部署内の業務において何らかの取組を行っているか。	○	荷捌き会議等で、関係者へ安全性の確保等の要請を行っている。 また、職員一同丁寧・誠実・親切な対応にこころがけている。
	国民各層からそれらの取組が適切であるとの評価を受けているか。	×	
苦情、要請等への対応	国民からの苦情、要請、内部告発、その他の情報提供について、対応が放置されたり、不誠実との批判を受けた事例があるか。	×	国民からの苦情等について、これまでない。
	苦情、要請、内部告発を受けた場合の対応の方法はルール化されているか。	○	
	そのルールについて、改善すべきとの声は寄せられているか。	×	
	対応がルール化されていない場合、国民の苦情、要請への対応が公平になされている考えられるか。	—	
基本的な視点	国民に政策目的や政策効果の説明を適切に行い、その結果を施策に適切に反映するため、何らかの取組を行っているか。	○	政策等に関する説明については、本省の指示により実施。
	政策について国民との意見交換を適切に行い、その結果を施策に適切に反映するため、何らかの取組を行っているか。	○	
	国民各層からそれらの取組が適切であるとの評価を受けているか。	×	
	政策目的や政策効果の説明、意見交換の方法、その結果を施策に適切に反映する方法はルール化されているか。	×	
	そのルールについて、改善すべきとの声は寄せられているか。	—	
	ルール化されていない場合、国民全体の視点で見て、業務が公平に遂行されると考えられるか。	○	
	説明会や意見交換会において出された意見について、対応が放置されたり、不誠実との批判を受けた事例があるか。	×	
業の振興と消費者の利益	部署内の業務において、特定の分野、団体の指導、監督業務、もしくは特定の分野、団体と深く関係する予算、税制等に該当する事項があるか。	○	
	業の振興と消費者の利益が一致しないという認識に立ち、日々業務を行っているか。	○	
	現在の所管の業界の状況からみて消費者と業界の利害が一致しないことがあるか。	○	

項目		対応	点検結果の概要
食の安全業務についての点検	総論	部署内の業務の中に、食の安全に関連する事項があるか。	○
	業務の見直し	BSE発生後業務の見直しを行ったか。	×
		見直した業務について、その後、定期的な検証を行ったか。	—
		部署内の業務は、国民の健康を守ることが何よりも重要であるという意識を持って行われているといえるか（産業振興サイドに偏っていないといえるか）。	○
		部署内の業務は、国民の健康への悪影響発生の未然防止の観点から行われていると言えるか（問題・事故が発生した後の被害拡大防止に偏っていないか）。	○
		その措置は科学的な知見や証拠に基づいて業務が行われているといえるか（根拠のない判断をしていないか）	○
		フードチェーンの川下への影響を防ぐ観点からの措置はとられているか。	○
		その措置は科学的な知見や証拠に基づいて業務が行われているか（根拠のない判断をしていないか）。	○
		他部署の実施する食の安全業務について、おかしいと思う点があるか。	×
		おかしいと思う点がある場合、他の部局に対し何らかの働きかけを行っているか。	—
第三者（マスコミ、消費者、他省庁等）から、点検対象とした食の安全業務と他の部署（省内、省外を問わず）が行う食の安全業務との連携ができていないと指摘されたことはあるか。	×		
影響可能性の確認	食の安全に関する業務でないとされているものの中で、食の安全に影響を及ぼす可能性のある業務は本当にはないか。	×	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入米麦の契約書の変更等が行われた。 ・厚生労働省（検疫所）での検査を受け安全性が確認された物のみを輸入している。

※「はい」の場合は「○」、いいえの場合は「×」で表示しています。

	ご意見の内容		ご意見を踏まえた業務等の見直し・改善状況
農林水産省へお寄せいただいたご意見の業務への反映	輸出届出書の届出者の記載欄が狭いとの意見があった。	/	本省に照会し、要望どおり改善された。
		/	
		/	